天白を元気にする社協発情報紙

ぱわわ

63号 December 2019年（令和元年）12月

ぱわわとは？
ぱわ 天白を元気にする力(パワー)
わ 地域をつなげる輪(わ)と和める(わ)たまり場づくり
そんな思いがひとつになって ぱわわ と名づけました！

[発行]社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
〒468-0015／名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階　TEL:052-809-5550　FAX:052-809-5551
E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp　http://www.tenpaku-shakyo.com
バックナンバーはこちら:http://www.tenpaku-shakyo.com/fr_06.html

情報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想も
はがき・FAX・メールにて受け付けています

視覚障がいその他の理由で活字のままで読むことが困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。

クローズアップ！

みんなのまちの地域福祉推進協議会♬

地域福祉推進協議会（以下、推進協）をご存知ですか？
推進協とは、すべての住民が安心して暮らすことのできる福祉のまちを、住民が主体となって地域総ぐるみで推進することを目的として設立された住民組織です（市内全小学校区266学区に設置されています）。

※推進協は、全国に存在し、地域によっては「地区社協・校区社協」と呼ばれています。
※「すべての住民」とは町内会に加入しているかどうか、障がいの有無などに関係なく、その学区に住む全住民を指します。

天白区社会福祉協議会
キャラクターてんてん

推進協に携わっているボランティアのみなさんの声

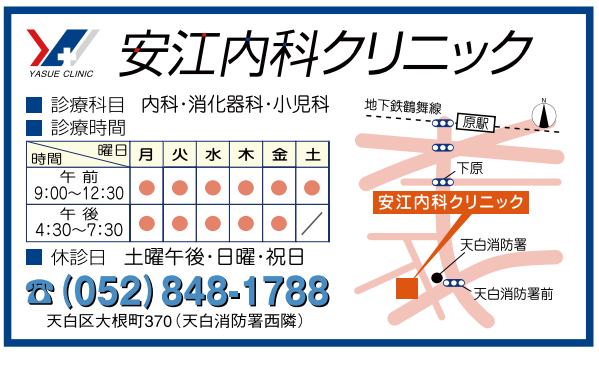
すでに8年以上「りんりん」を続けていますが、2歳の頃の何もできなかった娘が10歳になりました。
娘も含め、子どもたちの成長をみられることがやりがいです。また、初めて参加される方や我が子の成長を不安に思われている方の手助けになれればいいなと思い、活動を続けています。

【植田東学区障がい者スポーツ「りんりん」代表　遠山裕之さん】

友だちの紹介で始めました。気づいたら、活動を始めてもうすぐ10年になります（笑）
大人数の食事を作るので、覚えることや大変さもありますが、参加者の方とのふれあいが楽しくて続けています。また、「おいしかったよ。」と言ってくれたり、嬉しそうに食べていただくお顔を見ていたりすると、私たちも幸せな気持ちになります♪

【山根学区ふれあい給食会（むつみ会）ボランティア
左:阪野則子さん　右:寺島房子さん】

詳しくは次のページをご覧ください



【特集】みんなのまちの地域福祉推進協議会♬

どんなメンバーで構成されているの?

⇒当該学区の区政協力委員会、民生児童委員協議会、保健環境委員会、女性団体、老人クラブ(なごやかクラブ)、ボランティア団体など、10人以上で構成されています。

どんな活動をしているの?

⇒天白区内すべての小学校区(17学区)に推進協があり、その学区の特色を活かしながら、福祉に関する様々な取り組みを実施しています。

各学区の取り組みの中から、ほんの一部をご紹介します。

【山根学区のふれあい給食会(むつみ会)の様子】

学区在住の、主にひとり暮らしの高齢者を対象に、おしゃべりや交流を楽しむことを目的に、コミュニティセンターで、原則毎月1回開催しています。山根学区では、隔月で菅田住宅集会所にも手作りのお弁当をお届けしています。

【植田東学区の障がい者スポーツ「りんりん」の様子】

「りんりん」は、代表を務める遠山さんの3番目のお子さんの「りんちゃん」がダウン症とわかり、地域で子どもが分け隔てなく、やりたいことを安心して実現できる場所をつくりたいという思いがきっかけで始まりました。障がいのある子どもやその家族がスポーツで交流することを目的に原則毎月1回、植田東小学校の体育館で開催しています。障がいのある方、そのご家族や友人であれば、居住地域関係なくご参加できます。

その他にも、地域では高齢者や未就園児とその保護者などを対象としたサロン活動や、ご近所同士の助けあい・支えあいを目的としたお助け活動、健康づくりや介護予防を目的とした体操教室・福祉学習会など、様々な取り組みがあります。

それらの活動は、「特別な誰か」が活動するのではなく、地域住民のみなさんのボランティア活動として実施されています。

『～この記事を読んでくださったみなさんへ～』

推進協活動は、何か特別な知識や経験、スキルなどなくても、地域住民の方ならだれでも参加できるボランティア活動です。中には、大変な活動もあるかもしれませんが、関わっていただいているみなさんが、“楽しみ”や“やりがい”を感じながら「自分たちの地域のために」という思いで活動されています。例えば、「月に1日なら」「空いた数時間程度なら」と推進協活動に興味・関心を持っていただいた方は、ぜひ社会福祉協議会までお問合せください♪

ヘルパー募集!
あなたらしさを応援
研修・資格・交通費等各種手当あり!
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
まずはお気軽にお電話下さい
在宅福祉部 ☎052-731-9758
天白区介護保険事業所 ☎052-800-2255

介護保険のご相談受付します
・希望される方(介護認定を受けた方)は体験利用(食費400円のみ)でご利用できます。
・見学を希望される方もお気軽にお電話下さい。
パート募集中!!
隣接する野並保育園の園児との自然な交流が笑顔を呼びます。
野並デイサービスセンター 天白区福池2丁目340番地
http://www.nohonoho.com/index.html nonami.f@yk.commufa.jp
☎896-3434
FAX.899-0233

マスコットキャラクター
にこっち@ふれ愛ネット天白

ふれ愛ネット天白

誰もが安心して暮らすことのできる天白をめざして

問合先 「ふれ愛ネット天白」事務局
(天白区社会福祉協議会内)
TEL:809-5550 FAX:809-5551

会員募集中!

スマートフォンなどをお使いの方は、こちらのQRコードからFacebookページにアクセスしていただけます。
https://www.facebook.com/fureainettenpakukufukushikuminnotsudoi

「第35回天白区福祉区民のつどい」を開催!

令和元年10月27日(日)は、「まつり天白2019」との同時開催で「第35回天白区福祉区民のつどい」を開催しました。

実行委員会加盟団体と事務局の天白区社会福祉協議会が5月から会議を重ねて準備してきたこのイベント。今年も見事な秋晴れの下、天白生涯学習センター(ふれあい広場)・天白公園(福祉広場他)ともにたくさんの来場者で賑わいました。

ご来場・ご協賛・ご協力いただいたみなさま、誠にありがとうございました。

秋晴れの下、終始賑わった福祉広場(天白公園内小公園)

ふれあい広場(生涯学習センター)で企画を楽しむ来場者。

まつり天白ステージでも福祉区民のつどいメンバーが歌って踊りました。

[ご協賛いただいたみなさま](敬称略)

- ㈱ハーツ
- ケアマネハウス ライフケア相生
- (特非)あたたかい心
- 日本一住みやすい街をめざして 野並日本一の会
- 天白ハッピーボイス
- 天白福祉会館
- (福)ほっとはむ
- 和工房TAN・KEI
- 名古屋市いこいの家 てんぱくにじいろ
- 天白区手をつなぐ育成会
- ふたばの会
- 天白子ネット
- (福)名東福祉会 天白ワークス
- ㈱ライフ 生活介護事業所アライブ/ライフファクトリー
- 天白区聴覚障害者福祉協会

他、個人3名

[協賛物品をご提供いただいたみなさま]

- ㈱大塚製薬工場
- サンシャインKYORAKU植田

★ボランティアのみなさま、民生バザーにご協力いただいた民生委員児童委員のみなさま、実行委員加盟団体を通じてご協力いただいた方々にも深く感謝申しあげます。

※「天白区福祉区民のつどい」はふれ愛ネット天白と天白区社会福祉協議会による共同事業として、区内の福祉関連団体等が実行委員会形式で準備・運営しています。

ふれ愛ネット天白とは
天白区内の障がい児者・子ども・高齢者に関わるボランティア・団体・施設等が所属するゆるやかなネットワークです。

この指とまれ! 情報コーナー

ボ ボランティア イ イベント 講 講座

天白区社会福祉協議会の連絡先は本紙1面上部に記載

ボ 高齢者疑似体験をお手伝いしてくれる方募集!!

- 日時:令和2年2月10日(月)・17日(月) 10:00〜12:00(2回連続講座)
- 場所:天白区在宅サービスセンター研修室
- 内容:天白区内の学校等の授業で「高齢者疑似体験」をお手伝いしてくださる方向けの講座
- 対象:天白区内の学校等で活動できる方で両日(10日、17日)とも受講できる方
- 定員:先着20名
- 費用:100円
- 申込:令和2年2月7日(金)までに、電話または窓口にてお申し込みください
- その他:疑似体験セットを着用するため、長そで、長ズボン、靴下でお越しください
- 問合先:天白区社会福祉協議会 担当/広

イ 天白おやこ子育て広場 in Winter2020

広くてあったかい体育館でみんなあそぼう!

- 日時:令和2年2月13日(木) 10:00〜13:00
- 場所:天白スポーツセンター 第1・2競技場
- 対象:未就園児(0〜3歳)とその保護者
- 費用:1組200円
- 問合先:天白区社会福祉協議会 担当/堀江

イ シーン・ボイスガイド付き上映会

「シーン・ボイスガイド」とは、映画の流れに沿って、場面の情報を声で伝えていくガイドです。視覚障がいのある方もない方も、お気軽にご来場ください。

- 日時:令和2年3月1日(日)開場13:00 上映時間13:30〜15:30
- 場所:天白区在宅サービスセンター研修室
- 内容:「心が叫びたがってるんだ。」
- 定員・費用:先着50名・無料
- 申込:2月3日(月)〜2月26日(水)までに、電話、FAX、または窓口にてお申し込みください。なお、FAXの場合は、住所・氏名・電話番号・「シーン・ボイスガイド付き上映会希望」と明記のうえ、お申し込みください。FAXが届きましたら折り返しお電話をいたします。
- 問合先:天白区社会福祉協議会 担当/磯村

歳末たすけあい募金運動

〜つながりささえあうみんなの地域づくり〜

12月1日〜12月31日

歳末たすけあい運動は、区内の支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができることを願って行われる区民のみなさまの善意による運動です。
区民のみなさまのあたたかいご協力をお願いします。

この寄付金は、保育園、子育てサロン、学童保育所、障がい児・者施設、高齢者施設などへの「サンタクロース派遣事業」にも役立てられます。

※令和元年度に集められた募金は、令和2年度に天白区社会福祉協議会へ配分され、令和2年度の事業に役立てられます。

名古屋市天白区共同募金委員会(天白区社会福祉協議会内)
〒468-0015 名古屋市天白区原1-301 原ターミナルビル3階
TEL:809-5550 FAX:809-5551

広告募集中

「ぱわわ★天白を元気にする情報紙」に広告を載せてみませんか??

・次号発行:令和2年3月頃 ・発行部数:約58,500部
(中日新聞折込及びポスティングにより各戸配布しています)
・広告募集枠:広告掲載料/裏面1枠…20,000円
※複数枠掲載や連続掲載による割引もございます。詳しくはお問合わせください

連絡先 天白区社会福祉協議会 担当:山田
(連絡先は本紙1面上部に記載)

ぱわわな 子育て日記 No.63

『ちょっと静かにしててくれる?』

こんなことを、ねえねに向かって言う日が来るとは、夢にも思っていませんでした。

現在、12才。生後半年で気管切開をして、声を失ったはずのねえねでしたが、7才ごろから、少しずつ声が出るようになり、最近では、カタコトですが、言葉を話せるようになってきたのです!

弟のチビは、ねえねより先に言葉を覚え、もう弾丸のようにしゃべりまくるので、何度、「ちょっと静かにして!」と叫んだことか…

小さな子どもが、言葉を覚えたての時期って、「コレなあに?」「どうちてお空は青いの?」等々、アニメの「一休さん」に出てくる、どちて坊やのように、エンドレスに質問が続きますよね。

最近のねえねのお気に入りフレーズは、「おとーちゃんは?」「チビは?」「ナッツ(飼っているインコ)は?」「おばーちゃんは?」…など、家族のことを聞いてきます。そのたびに、「お父ちゃんは会社に行ってるよ」「チビは公園に行ってるよ。」などと答えるのですが、すべて答えるとまた最初から…

私が電話をしている時も、おかまいなしに話しかけてきます。

覚えた言葉をどんどん使って、ぐんぐん成長しているすばらしい瞬間だというのに、「ごめん、ちょっと静かにしててくれる?」と言ってしまう母でした。

(サトコ)

ぱわわな 介護日記 No.54

認知症の人の世界を知る(その51)
「認知症の方の理解
自分なりの「納得」～無意識な辻褄合わせ～」

Aさん(87歳女性)は、独居の認知症の方です。Aさんは、大腿部骨折で入院後、足の痛みは残っていますが、脱臼予防のための装具の使用を条件に、先日退院されました。短期記憶障害のAさんは、退院後、すぐに骨折したことと装具のことを忘れてしまったため、装具を拒否されるようになり、ヘルパーによる説得が続いていました。

ある日、Aさんが、雪崩事故の新聞記事を読みながら「昔、私も雪山で雪崩に遭ってねぇ、今でもその足が痛むの。」という話をされ、足を擦っていました。初耳のヘルパーは、息子さんに雪崩事故のことを確認しましたが、そのような事実はありませんでした。

認知症の方は、自分に都合がいいように、話の辻褄を合わせる症状があります。退院後、骨折したことを忘れてしまったAさんは、今感じる“足の痛み”の原因がわからず、不安でした。痛みの原因を思い出せないAさんが安心するには、Aさんなりに「納得」できる原因が必要でした。そのため、Aさんは、たまたま目にした“雪崩事故”の新聞記事と“足の痛み”を合わせて「雪崩事故で足を痛めた」という自分に都合のいい「納得」できる痛みの原因を、無意識に作り出していたのです。

Aさんの世界を知ったヘルパーは、その「雪崩事故で足を痛めた」というAさんの世界に入り「大変でしたね。その痛みが治るように装具を着けましょうね。」と声掛けすることにしました。その日から、Aさんは、装具を拒否無く使用されるようになりました。

認知症の方は「納得」が得られると、症状の落ち着きに繋がります。認知症の方の「納得」を得るためには、介護者がその認知症の方の世界に入って演じることが必要になるのです。(モカ)

中学生ぱわー(わ)!!

久方中学校、原中学校、天白中学校の生徒さんが、11月12日～15日に各校内で募金活動を行ってくださいました。

集められた募金は、天白区共同募金委員会へ届けられました。

みなさん、ご協力ありがとうございました。

【久方中学校活動の様子】

編集後記

令和元年がもうすぐ終わろうとしています。穏やかな年になってほしいと迎えた令和でしたが、大きな災害が起こってしまいました。災害が起こるたびに近所の助け合いの重要性を痛感します。声をかけあって避難した地域は犠牲者が出なかったそうです。

特集記事で紹介された「地域福祉推進協議会」は、ご近所のつながりを作る大きな役割をはたしています。これからも活発に活動をしてほしいと思います。(ユーコン)

善意の輪

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。

(令和元年8月1日から10月末日受付分 受付順)

○名古屋ヤクルト販売株式会社 様
○八事東学区盆踊り委員会 様
○愛知県立天白高等学校PTA 様　　●合計　3件

この情報紙は、広告収入の他、皆さまから寄せられた賛助会費・共同募金配分金を財源としています。